

平成23年4月21日

## 安全対策連絡協議会（第22回）

### 1 管内の治安情勢

#### (1) はじめに

2010年中の米国内における犯罪の発生件数は減少傾向にあり、当地（アトランタ市）においても、前年と比較して10パーセント減少しています。

他方、殺人事件については16パーセント増加しており、その多くが薬物絡みの銃器を使用した凶悪犯罪となっています。

当地検察官は、「アトランタ市は、「違法薬物の流通拠点」、「銃器取引の拠点」、「人身売買の拠点」で、多種の犯罪が混在する都市」と説明しており、米国統計調査会社（U.S. ニュース・アンド・ワールド・リポート誌）は、「アトランタ市は、全米の都市で2番目に治安が悪く、平均的な米国の都市と比較して5倍も窃盗事件被害に遭う可能性が高い」旨報道しています。

犯罪は減少しているものの、日本と同じ感覚で振舞えば、事件の被害者になる可能性が高まります。犯罪の被害者にならないためには、当地の治安情勢については日ごろから注意しておく必要があります。

#### (2) 犯罪の認知件数

ア 2010年のアトランタ市内における各種犯罪の認知状況は以下のとおりです。

#### ～ アトランタ市警察発表 ～

【凶悪犯】	2010年	2009年	増減
殺人	93件	80件	16%増
強姦	89件	135件	34%減
強盗	2162件	2725件	21%減
加重暴行	3405件	3419件	微減
小計	5749件	6359件	10%減
【財産犯】			
侵入窃盗	8016件	9112件	12%減
単純窃盗	17741件	19511件	9%減
自動車盗	5043件	5726件	12%減
小計	30800件	34349件	10%減
主要犯罪合計	36549件	40708件	10%減

※ 本年1月の認知件数は以下のとおりです。《（ ）内は2009年との比較》

殺人事件 6件(増減無し) 強姦事件 10件(6件増) 強盗事件 156件(14件減)

侵入盗 567件(101件減) 窃盗事件 1329件(95件減) 自動車盗 396件(13件減)

イ アトランタ市警市内署(6署)の犯罪認知件数 (2010年中)

	殺人	強姦	強盗	悪質暴行	侵入盗	窃盗	自動車盗
1分署	29	11	393	876	1671	1785	677
2分署	3	12	161	127	868	3639	521
3分署	20	23	417	871	1915	2339	1159
4分署	19	21	444	814	2090	2643	1242
5分署	12	11	436	383	524	4927	772
6分署	10	11	311	334	948	2408	672

ウ アトランタ市警6署の管轄図

	<p><b>第1分署</b>～殺人や強盗、悪質暴行、侵入盗が多い。</p> <p><b>第2分署</b>～窃盗事件が多い。</p> <p><b>第3分署</b>～殺人や強盗、悪質暴行、侵入窃盗、自動車盗が多い。</p> <p><b>第4分署</b>～強盗、悪質暴行、侵入窃盗、自動車盗が多い。</p> <p><b>第5分署</b>～強盗や窃盗事件が多い。</p> <p><b>第6分署</b>～強盗事件が多い。</p>
--	---

2 犯罪被害に遭わないための対策 ～ なによりも、日頃の注意と工夫が大切です ～

(1) 日常生活において

- ◇ 在宅時も常に施錠する。
- ◇ 外出時、就寝時は必ず施錠。施錠確認の習慣を身につける。
- ◇ 貴重品類の保管場所は常に見直す。
- ◇ 必要な防犯機器は費用を惜しまずに設置する。
- ◇ 屋外の窓下には箱などを置かない。賊が侵入しにくい環境をつくる。
- ◇ 不意の来訪者がある場合は、ドアを開ける前に十分に相手の身元を確認する。
- ◇ 日頃から「異常」がないか確認する習慣をつける。

- ◇ 監視されている可能性もあるので、勤務先等への移動のパターンをいくつか作る。
- ◇ ご近所から周辺の治安情報について収集。異常があればすぐに対策をとる。
- ◇ 身近に迫った異常については、「冷静」に対応策を考えて行動する。
- ◇ 「緊急連絡網」を作って電話の傍に置いておく。

## (2) 夜間外出するとき

- ◇ 絶対に暗い場所を一人で歩かない。
- ◇ 目的地までの移動は素早く行う。寄り道はできるだけ避ける。
- ◇ 街中では、不審な人物がいないか常に注意する。背後の気配にも注意する。
- ◇ 多額の現金、不要な貴重品は持ち歩かない。
- ◇ 強盗に襲われた場合は、身体の安全を最優先して、無理な抵抗をしない。

## (3) 長期間留守をするとき

- ◇ 戸締まりの確認を必ずしてから外出する。
- ◇ 新聞、郵便物が溜まらないよう、業者、郵便局に配達の一時的停止を手続きするか、隣人、友人の協力を得るようにする。
- ◇ 夜間照明のタイマー点灯で、在宅と思わせる工夫をする。
- ◇ 家の鍵を足ふきマットの下や植木鉢の中などに隠し置きしない。

## (4) 自家用車について

- ◇ 「安全運転」を心掛け、駐車時もその場所が安全か確認する。
- ◇ 駐車中は、必ずドアをロックする。
- ◇ 駐車中の車内には犯罪を誘発するようなバック類を置かない。
- ◇ アラームなどの防犯装置の設置を検討する。
- ◇ 運転中に尾行されている可能性もあるので、異常を感じたら、安全な場所(例えば車の通りの多い場所)に避難する。
- ◇ 日常の運転ルートを複数用意しておく。
- ◇ 運転前に、車の周り、内部に異常がないかを確認する。
- ◇ 運転中は、常に回りの状況を確認する。
- ◇ 道路地図、緊急連絡先などを常備しておく。

# 3 交通事故防止

## (1) 邦人被害の事故

昨年、ユタ州ブライスカニオンに向かう途中で日本人観光客を乗せたバスが横転し、日本人3名が亡くなるという事故が発生しました。

## (2) 安全運転のための基礎知識

#### ア 飲酒運転はしない。

罰金(1,000ドル以下)、48時間の禁固刑などがある。

「飲んだら乗るな、乗るなら飲むな」の鉄則を守りましょう。

#### イ 疲労は大敵、早めの休憩を

#### ウ シートベルト着用は常識

#### エ 慣れない夜間の運転は事故のもと

郊外に出ると真っ暗で標識も見えないようなところもある。

#### オ 慣れない自然環境に注意

広大な平原など平坦な道路では、注意力も低下します。居眠りやオーバースピードに注意を。突然のサンダーstormでは突然視界が奪われることもあります。

### (3) 運転中の携帯電話の使用制限

#### ア 18歳未満～携帯電話の使用の禁止

#### イ 18歳以上～携帯メール機能の使用禁止

- ・ 禁止事項～画面を見ること、文字を入力すること、送受信すること
- ・ 赤信号で停車時に使用する場合も同様
- ・ 反則金～150ドル
- ・ 例外～犯罪行為についての通報や人命に関する場合

## 4 生活習慣の違いについて

### (1) 親子の関係 ～親権問題、虐待・体罰、子供の留守番～

#### ア 子供の親権問題

米国の国内法(刑法)では、父母のいずれかが親権(監護権)を有する場合又は離婚後も子供の親権を共同で有する場合、一方の親が他方の親の同意を得ずに子供を連れ去る行為は重大な犯罪(実子誘拐罪)とされています。

#### イ 虐待・体罰など

子供への体罰は虐待とみなされ、刑事訴追されることもあります。

小学生(女子)が「父親とお風呂に入るのが好き」とする作文が警察の知るところとなり、父親が児童虐待の容疑で逮捕された事案もあります(他公館管内発生)。

#### ウ 子供の留守番について

(ア) ジョージア州は子供の留守番について次のような指針を定めています。詳細は、各地の教育委員会若しくはお子さんの通学先などにご確認ください。

- ・ 8歳以下の子供は一人で留守番させない。
- ・ 9歳から12歳の児童は、その発育の状況に応じて短時間(目安として2時間以内)留守番しうる。
- ・ 13歳以上の児童は、発育の状況に応じて一人で留守番しうるが、留守番の時間は12時間若しくは夜間に及ばないように配慮する。

- ・ 発育障害等のある児童を一人で留守番させない。

#### (イ) 児童に伝えるべき事項

- ・ 緊急時の連絡先(「911」通報)など
- ・ 緊急時の対処方法(火災発生時の対応や不審者が来た場合の対応)
- ・ 保護者の携帯番号や職場の連絡先、自宅の住所(通報受理者に伝えることができるか)
- ・ 信頼のおけるご近所の連絡先
- ・ 言葉に不自由がある場合の対処方法(ご近所の方等に助けを求める等)

## (2) 家庭内暴力

ア 国際結婚されている方の中には、外国人の相手とのコミュニケーションギャップや価値観の違いから、虐待や深刻な事態に直面している方もいらっしゃいます。

家庭問題にかかる相談は早めに関係団体・機関へご相談ください。当館でも、必要に応じて、問題可決のための助言を行っています。

イ 日本人同士の夫婦の場合でも、日本と同じような感覚で夫婦喧嘩をしまい、当事者の一方が当地警察に逮捕される事案が発生しています。

#### ～ 最近の逮捕事案 ～

- 米国内の空港で些細なことから口論となり、公衆の面前で妻が夫を平手打ちしたことから、同妻が警察に逮捕された事案。
- 夫婦で、自宅で飲食中に些細なことで口論となり、夫から家の外に追い出された妻が、屋外で泣いていたため、隣人が警察に通報し、夫が警察に逮捕された事案。

## 5 災害・テロ対策

### (1) 最近の事例

4月14日(木)に米国中南部で発生した大型で勢力の強い暴風雨が、15日(金)の夜半から16日(土)の未明にかけて、当館管轄州のアラバマ州、ジョージア州、ノースカロライナ州及びバージニア州を直撃し、各州で家屋の倒壊等の被害が発生させた他、アラバマ州で死者7名、ノースカロライナ州で死者21名、バージニア州で死者7名の人的被害が発生しました。

※ 関係6州の死者45名の内35名が当館管轄州内の死者

特に、ノースカロライナ州においては、暴風雨の通過時に60本を超える竜巻が発生したことから、死者数が21名と甚大となった他、大型ショッピングセンターが倒壊する等の被害も発生しました。

※ 4月27日には、アラバマ州等で多数の竜巻が発生し、200名以上の方が亡くなっています。

### (2) 災害対策

#### ア 緊急事態への日頃の準備

「緊急事態」に備えて、日頃からの準備が大切です。

いざというときの家族の集合・避難場所を複数決めておきましょう。

「非常用物資(目安:2週間は凌げる量)」を身近にまとめて管理しておきましょう。

## (ア) 非常用持ち出し物資

- ◇ 飲料水(1人1日当たり1ガロン)・長期保存可能な食料品・医薬品
- ◇ 履き物・衣類(季節に合わせた着替分も)・家族全員の医療情報リスト
- ◇ パスポート・現金・クレジットカード類・貴重品・自宅と自動車のスペアキー
- ◇ ラジオ・懐中電灯(予備の電池も)・マッチ・地図・折りたたみ傘
- ◇ 洗面道具・トイレトペーパー・ビニールシート・固形燃料
- ◇ 携帯用の鍋・やかん・紙皿・紙コップ・割り箸・缶切り・栓抜き
- ◇ 帽子・サングラスなど

## (イ) 連絡先リスト

- ◇ ご家族全員の携帯電話番号・勤務先・最寄りの病院・警察
- ◇ ホームドクター・学校・日本の大使館・総領事館などの電話番号

## イ 緊急事態が発生したとき

### (ア) 落ち着いて冷静に対処。

- ・ 冷静に行動する。根拠のない「噂」に惑わされない。パニックに陥らない。
- ・ 群衆に近づかない、群衆の動きにまどわされない。

### (イ) 最新情報の入手に努めましょう。

- ✓ CNN、NBC、FOXなどのTVニュース
- ✓ 国土安全保障省(緊急情報) <http://www.fema.gov>
- 日本の外務省HP <http://www.mofa.go.jp/mofaj/>
- 在アトランタ日本国総領事館
  - 代表電話番号 404-240-4300
  - FAX 404-240-4311

## (2) 米国のテロについて

### ア 現状

米国政府は、米本土に対する AQ の脅威は継続しているとしています。

### イ 脅威度について

4月27日(予定)以降、米国の脅威度の表示方法が変わります。

#### (ア) 現在の表記方法

脅威度の高い順から、「赤」、「オレンジ」、「黄色」、「青」、「緑」の5段階の表記

※ 現在(4月13日付)は「黄色(高い)」～elevated

#### (イ) 新しい表記方法

「elevated(高い)」、「imminent(切迫している)」

詳細は、米国土安全保障省の HP をご確認ください。

[http://www.dhs.gov/files/programs/Copy\\_of\\_press\\_release\\_0046.shtm](http://www.dhs.gov/files/programs/Copy_of_press_release_0046.shtm)

#### (4) 空港の利用について

##### ア 一般的な注意事項 ～ 空港保安検査場での注意 ～

- ・ 液体、ペースト状物品の機内持ち込み制限
- ・ライター、刃物等の危険物の持ち込み禁止
- ・ TSA ロック以外の鍵は破綻検査の対象。
- ・ その他、身分証明書の提示、靴の着脱、ノート型パソコンの取り出し等については、事前に下記のサイト等でご確認下さい。

[www.tsa.gov](http://www.tsa.gov)

##### イ フル・ボディー・スキャナ、パットダウン

- ・ TSA は検査に対する協力を求めています。検査を拒否した場合、飛行機に乗れないこともあります。

##### ウ 空港到着の目安 ～ 出発には余裕を持って ～

- ・ 国内線 : 搭乗開始の1時間30分以上前に
- ・ 国際線 : 搭乗開始の2時間以上前に

## 6 全米・カナダ邦人安否確認システム

### (1) システムの概要

外務省は、米国、カナダにおいて大規模な災害などが発生した場合に稼働(平時は利用できない)するシステムを整備しています。本システムを利用すれば、米国、カナダの滞在者がシステムに伝言を残した場合、日本国内の家族はその伝言を聞くことができます。伝言を聞くためには、伝言を登録した者の電話番号と生年月日がパスワードとして必要となります。

詳細は、当館ホームページ中の特集「邦人安否確認システム」をご覧ください。

### (2) 連絡先

1-866-903-2674

1-866-904-2674

1-866-905-2674

※ 米国、カナダからは通話料無料。その他の国、地域からは米国までの通話料がかかります。

## 7 領事班からのお願い

### (1) 旅券の管理と有効期限の確認について

パスポートは、日本国政府が発行する国際的身分証明書であり渡航文書です。有効期限が切れてしまうと再発行の手続きなどが必要となります。夏休み等で一時帰国や米国外に渡航される方もいらっしゃると思います。今一度旅券の所在と有効期間の確認をお願いします。

～ 最近の盗難、紛失事案の例 ～

- 盗難被害事案

キャンパス内のベンチにパスポートを入れたブックバックを置き忘れ、すぐに取りに戻ったが、バックが盗まれていた。

○ 紛失事案

帰国のために、アトランタ空港内の地下鉄を使って出発ゲートに向かう途中、地下鉄車両内にパスポートを入れたバックを置き忘れた。

(3) 「在留(転出・変更)届」提出について

緊急事態が発生した場合、当館は、「在留届」に基づいて調査します。「在留届」の提出をお忘れのないようお願いします。その他、帰国・転居時等の「変更届」、「在外選挙」などの提出も併せてお願いします。